

自治会まちづくりミーティング（要旨）

- 1 自治会名称 稲羽西自治会連合会・稲羽東自治会連合会
- 2 日 時 令和4年7月21日（木）19時00分～20時10分
- 3 場 所 稲羽コミュニティセンター
- 4 出席者 連合会長及び自治会長 25名
市長、産業活力部農政課長
- 5 内 容 ① 連合会長あいさつ
② 市長あいさつ
③ 提言による懇談
④ 市政の説明（市長）
⑤ 連合会長まとめのことば
⑥ 市長まとめのことば
- 6 提 言 ① 「三井山」山頂に展望台及び登山道整備
② 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館に小動物とふれあう広場の整備

提言① 「三井山」山頂に展望台及び登山道整備

<三井町第2自治会長>

三井山公園の遊歩道は、平成3年度整備から30年が経過し、階段等が劣化していることから、令和3年度から複数年にまたがる整備をいただいております。

展望台のまわりに、濃尾平野、伊吹山、金華山等を表示する案内板と展望する望遠鏡を設置し、三井山の四季折々を多くの方に楽しんでいただくよう提言します。

三井山は、各務原市の南西部の三井町に位置する標高約109mの独立峰です。周辺一帯が公園として整備され、山頂まで緩やかな登山道があり、手軽な散策登

山が楽しめる一方、戦国時代の山城遺構や古代の祭祀遺跡である複数の古墳があったことはあまり知られていません。

遊歩道の距離は420m、15分程で手軽に登れる山で、年間利用者は4万人を超える勢いです。

展望台を整備し、更なる利用者の安全対策を行い観光スポットになるようにお願いします。

<市長>

平素より三井山および三井山公園の清掃・維持管理に多くの方のお力を賜り、厚く御礼申し上げます。三井山は市中心部に近く、また自衛隊基地近辺という地理的条件も相まって市内外の多くの方に親しまれている市内有数の里山ですが、これまでの地元の方々のご努力があってこそ今の三井山があると考えております。

市では、令和3年度、森林環境譲与税を活用し、段差が大きく子どもやお年寄りの登り下りに不自由していた三井山遊歩道南回りルート丸太階段について、県産材を使用して段差を低くし、楽に通行出来るように改善しました。

しかしながら、全線の整備には至りませんでしたので、市内の他の里山の整備状況も考慮しながら引き続き整備に努めてまいります。

遊歩道の危険箇所への手すり設置のご要望につきましては、先日、担当者が現地を確認いたしました。まずは危険箇所を周知する看板の設置にて対応し、手すりの設置については、今後の課題とさせていただきます。

展望台（東屋）への案内板と望遠鏡の設置についてですが、望遠鏡につきましては普段人目につかない場所であり、破損や盗難のリスクも考慮する必要があるため、設置は慎重に判断したいと考えておりますが、案内板については、現在設置されている案内板が既に色あせておりますので、更新をおこなう方向で検討してまいります。

今後も地元の方々と共に、三井山のさらなる発展・活性化に取り組んでまいります。

提言② 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館に小動物とふれあう広場の整備

<長平自治会長>

各務原市内には、小動物と触れ合う広場がないため、小動物とふれあう広場と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館と併設することで、より一層小さなお子さんに楽しんでいただけると共に集客力に繋がると思い提言します。

1996年に開館以来多くの人びとに愛されてきた「かかみがはら航空宇宙博物館」が、岐阜県と各務原市の共同事業で3年半をかけて全面リニューアルし、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」愛称「空宙博」（そらはく）としてオープンしました。

先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の歴史を伝え、子どもたちにチャレンジスピリットと感動を与え、国内唯一の本格的な航空と宇宙の専門博物館に生まれ変わりました。

このような博物館にリス・うさぎ・ひつじ・ヤギ等の小動物とのふれあい広場があれば、もっと子どもたちが遊びに来て、博物館の宇宙への感動が伝わるのではないかと思い提言させていただきました。

<市長>

2018年3月24日にリニューアルオープンした「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」は、今年5月、リニューアル以後の来館者100万人を達成いたしました。コロナ禍での休館や入館制限などもある中で、市内をはじめ多くの皆様にお越しいただき、我々の予想より早い達成となりました。

小さなお子さんに、航空宇宙に興味を持ってもらい博物館を楽しんでもらうことは、博物館の課題の一つであると考えております。現在、展示物など施設の充実、魅力向上について、共同設置者である岐阜県や運営管理を行う「公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」と検討を進めているところです。

現在、博物館の魅力向上につながるものとして、新たな展示機体の導入も予定しており、今年度末には皆さんにお披露目できるよう、準備を進めております。

昨年度から、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館への集客を図る取り組みとして、博物館屋外を利用した「マルシェ」を開催しており、お子さんと一緒におさんぽ感覚で気軽に立ち寄れるイベントとして楽しんでいただいております。

マルシェでは、博物館の入館者にオリジナルグッズをプレゼントするなどして、相互誘客にも取り組んでおります。

ご提案の小動物とのふれあい広場の整備については、博物館の設置目的や、航空宇宙に関する貴重な資料の収集、保管、展示を行うための博物館という施設の性質上、慎重な対応が必要なこと、動物を扱うにあたり遵守する法令・基準や資格登録等、いくつかの問題があることなど、経常的な小動物園の併設は難しいものと考えております。

しかし、一時的なイベント等において動物を入れることについては、博物館と協議の上、今年度の秋に空宙博の屋外エリアにて開催する「おさんぽマルシェ」において、犬を連れて入場ができる試みを予定しております。

今後も、博物館としてのさらなる魅力向上に努めるとともに、おさんぽマルシェのほか、産業農業祭やかかみがはらDEウオーキング、JAFフェスティバルなどの各種イベントとの連携にも積極的に取り組み、博物館への誘客を図ってまいります。

市を代表する施設である「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」が、これまで以上に多くの皆さんに親しまれる博物館であり続けられるよう、盛り上げてまいります。